

追悼  
金子幸代先生

二〇二一（令和三）年五月十三日、富山文学の会の創設者で初代代表を務めた金子幸代先生（富山大学名誉教授）がお亡くなりになりました。先生は二〇〇二（平成一四）年富山大学に赴任され、人文学部教授として、研究・教育に尽力されました。森鷗外研究の第一人者であるとともに、富山の文学、特に大正の三閨秀と呼ばれた小寺菊子研究に力を注がれました。小寺菊子に関する論文を多数執筆されたほか、『小寺（尾島）菊子選集（全六巻）』や『小寺菊子作品集（全三巻）』（桂書房、二〇一四年）の編集、金沢市の徳田秋聲記念館の企画展「反骨の作家・小寺菊子の文学」（二〇〇九年）の監修など、果たされた功績には大変大きいものがあります。

今号では、先生を偲び当会の会員や教えを受けた方たちからご寄稿をいただきました。ご寄稿いただいた方々に、この場を借りて感謝申し上げますとともに、当会一同、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。